

次長

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第1号

令和6年9月13日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 氏平 篤正



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

岩手県盛岡市菜園13-1

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)

3 内 容

第19回全国市議会議長会研修フォーラムin盛岡

テーマ：主権者教育の新たな展開

基調講演、パネルディスカッション、課題討議

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



行程表（令和6年10月8日、9日、10日）

日付	時刻	分類	内容	備考
10/8	5:00	移動 (自動車)	久世本庁→岡山駅	中国道 岡山道
		移動 (新幹線)	岡山駅→東京駅→盛岡駅	JR東海道・山陽新幹線 JR東北新幹線
	18:00	宿泊	ホテルニューカリーナ	岩手県盛岡市菜園2丁目 3番7号 TEL: 019-625-2222
10/9	13:00	研修会	第19回全国市議会議長会 研修フォーラムin盛岡	トーサイクラシック ホール岩手 (岩手県民会館) 岩手県盛岡市内丸 13-1 TEL: 019-624-1171
		宿泊	ホテルニューカリーナ	岩手県盛岡市菜園2丁目 3番7号 TEL: 019-625-2222
10/10	9:00	研修会	第19回全国市議会議長会 研修フォーラムin盛岡	トーサイクラシック ホール岩手 (岩手県民会館) 岩手県盛岡市内丸 13-1 TEL: 019-624-1171
	12:30	移動 (新幹線)	盛岡駅→東京駅→岡山駅	JR東北新幹線 JR東海道・山陽新幹線
		移動 (自動車)	岡山駅→久世本庁舎	岡山道 中国道

参加議員名簿

日にち：令和6年10月8日、9日、10日

No.	名 前	会 派 名	備考
1	うじひら 氏平 とくまさ 篤正	りよく 緑 しん 真 かい 会	代表者
2	にしだ 西田 ふみこ 文子	りよく 緑 しん 真 かい 会	
3	もりわき 森脇 まさかず 正和	りよく 緑 しん 真 かい 会	

報 告 書

令和6年10月15日

真庭市議会議員 小田 康文 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 氏 平 篤 正



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 6 年 10 月 9 日 (午前・ <u>午後</u>) 13 時 00 分 至 令和 6 年 10 月 10 日 (<u>午前</u> ・午後) 11 時 30 分
2	場 所	① トーサイクラシックホール岩手 岩手県盛岡市内丸13-1 「トーサイ」とは何という意味ですか？と聞いた所、スタッフ2人とも知らず、スマホで調べてくれました。「自動車を扱う会社名で、本社は埼玉県にある。岩手県民会館の命名権をお金で買っている」との事でした。
3	用 件	全国市議会議長会研究ホーラムin盛岡 主権者教育の新たな展開 ① 基調講演 菅義偉氏「人口減少社会における地域の未来図」 5分程のビデオメッセージに変更 ② 共済、厚生年金の加入推進 全国市議会議長会 3人 ③ パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」 井柳教授ほか5人 ④ 課題討議「主権教育の取組報告」 河村教授ほか4人 別添経歴

10月9日（水）13:00 トーサイクラシック岩手 大ホールと中ホール(リモート)

① 基調講演 菅義偉氏 この講演に多額の費用をかけこれを聞きに来るのだが、衆議院選挙のためビデオメッセージとなった。菅さん体調悪いみたいで5分程しかしゃべらない、声もかすれ目も虚ろ… 休むべきではないか、選挙無理されないように！と思って聞いた。「自分も地方議員からスタートした、安倍政権、インバウンド、今3,500万人が来日。これからの時代、地方議員に期待している」と。

② 大切な基調講演を埋めたのが、3人の全国議長会メンバーでそれぞれが、共済、厚生年金の加入、意見書の採択と話したが結局は無投票が多く、新たな人材確保という内容、優秀な人を…、議員の私たちは優秀でないのかとも感じ取れた。最初から30分休憩、ふざけるな！参加費を返せという気持ち。土山先生らには頼めない理由があるのだろうか～、喋れる人はいっぱいいたのと思った。

③ パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」

静岡大学、法政大学、WONDER EDUCATION、読売新聞、盛岡市議会の5人・小田、小田、古南、竹原議長、だから7～8年位前から真庭市議会研修会に土山先生を呼んでいる。「法政大学土山教授とは違う政治学者を呼ぶべき」と私は主張してきたが、今回その事を強く思った。皆違う内容を発言されているのです。土山先生がおっしゃった「議員が教育するのか？議員はその立場にない」と野党みたいな発言で、会場をオッと言わせたが、全くもって私は同感である。議会はしっかりもめましようと言った土山先生にも同感であった。私たち議員は人を教育する立場でないと思う。教育者の免許も無い。間違える場合もある、子供の成長に責任は取れない。

メモした事を記すと

- ・議員はまちに出よう！ ・生徒は市ではなく議員個人に向かってくる。
- ・1人でも間違った発言したらダメになる。
- ・自分の未来をよくしてくれる人を選ぶ。 ・情報の大切さ考える資料が必要。
- ・行政は答を、議会は議論でよい。
- ・2元代表制が理解されていない、何度も伝えるべき。 ・議員が市長に文句を言っていると思っている。 ・パネリストがノーコメントと答えた（会場笑）
- ・自慢話は聞きづらい。〇〇をした、7期した、生徒から感想文をもらったと大画面に映し出して全て原稿読み。 ・打ち合わせ台本のとおりでディスカッションの魅力を半減させた。
- ・読売新聞のツカミは素晴らしい。最初に聴衆の心を掴んだ。「越智君が緊張しているとあれだけ言ってたのに、あれだけ上手に発表した」と。 資料も立派でさすが現場たたきの人と思いきや、越智君越智君と隣のパネリストを君付けで呼ぶ、4回目からこの人、常識教育受けてない人だと嫌な気分になった。

・政治の事が分からないから選挙に行かない、分からない自分が将来を決めてはならないと大半の高校生が答える。 ・政治は何かを変えてくれると思う人が投票に行く。そう体験させよう！

・舞台上の一番人気は法政大学の土山教授だった。やはり教育には責任がある。そして最後にコーディネーター役の井柳教授が締めくくった。「主権者教育は確率してない」と。私たちが聴いた2時間半は何だったの？それが結論ですか？

法被を着た38人議員が入り口に並び手を振って迎える、違和感を覚える。舞台上の歓迎あいさつも次の札幌市議会も観光案内だった。盛岡市は岩手山と盛岡3大麺…、残念だったが食べようと思った。盛岡市は1人ひと言ずつ歓迎、小学校の卒業式みたい。札幌市は議長歓迎あいさつの後、ビデオでまちを紹介、次いで女副議長が補足、おかしい議長に任せられなかったのだろう。

10月10日 課題討議は「主権者教育の取組報告」

東北大学大学院、伊那市、四日市市、山鹿市の4人

2日とも主権者教育なのかあと少し残念な気持ちで入った。東北大学河村教授は、この前高梁市であった岡山県市議会議員研修会の講師だった。理想はまず傍聴から意見交換会へと。探究学習発表からグループ懇談へとおっしゃった。昨日の教育とは少し違う視点がある。そして議員の感想、高校生の感想へと展開させていく。

メモに記した事は、

- ・中学生キャリアフェス（地元企業団体を紹介、次は行こう）
- ・ワイワイGIKAI シティミーティングの開催

対象中学生 グループディスカッション

・なりたい職業トップ10を目指して。ミチズーシツ教室、小学校で民主政治を学ぶ、民主政治の基本は選挙である、選挙はすべき。・出前授業（議員が学校へ出向く）

・コミュニケーション不足なので、作業をして下さいと学校側に言われ、生徒に立候補してもらいポスターまで作った。・投票用紙は紙でなくプラスチックと説明、今日の紙は偽物と説明したら選管から本物500枚が届いた。

・議会だより子ども号の発行

・読み聞かせボランティアに本を読んでもらう。ぼりぼり村の民主主義（弘前大学）

・図書館に議会コーナーを設置。

・小学生も対象、中学生も対象、高校生も対象、どこも立派な活動をしている。



観望はさんさ祭り、悪い鬼を退治した時に踊った踊りを継承している。



全国市議会ふか人組。訪ねてみた所、ワイドに次いで2番目だ。



次の由緒は、ふか人組。ふか人組、副議長が議長から、さうな補足した。



舞台上で抜群の存在を感じた土山教授。福張、下ヤリ。



3階席はしんどい。コーディネーターが私がしゃべったので 皆様に短かめにと(笑)



2日目の舞会。1階前席でミズエミ桑りの3人を見た。小太鼓が上手な。

第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



大会テーマ
主権者教育の新たな展開



令和6年

10月9日[水] ▶ 10日[木]

トーサイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)



- 主催：全国市議会議長会
- 後援：総務省
- 協賛：全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施：第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

報 告 書

令和 6年 10月 15日

真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 森 脇 正 和



下記のとおり政務活動費を使用して 研修会活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 6年10月 9日 (午後) 1時00分 至 6年10月10日 (午前) 11時30分
2	場 所	岩手県盛岡市内丸13-1
3	用 件	全国市議会議長会研究フォーラム「主権者教育の新たな展開」



4 概 要

開会式の後、菅元総理大臣の基調講演の予定であったが、中止、ビデオメッセージを視聴。その後、井柳美紀氏をコーディネーターに土山希美枝氏、越智大貴氏、渡辺嘉久氏、遠藤政幸氏をパネリストとしパネルディスカッション「地方議会の課題と主権者」を実施。土山氏から議会が主権者教育を行うことに否定的意見が出された。これには、驚かされた。主権者教育の目的は、議会に対する関心を高めることが重要である。地方議会の多くは、高校生議会を開催している。また投票行動（模擬投票）を開催しているところも多い。統一地方選挙が3月～4月というのも年度変わりでも時期が悪く主権者教育の足かせになっていると指摘されていた。幅広い年齢層との対話も重要である。意見交換会の中で出た意見を一般質問につなげることも重要である。選挙は何のために行くかを考えてもらうことも必要。最後に主権者教育に確立されたものはないとの意見があった。

2日目、河村和徳氏をコーディネーターに、白鳥敏明伊那市議会前議長、諸岡覚四日市市議会議員（第83代議長）、服部香代山鹿市議会議員、3氏から「主権者教育の取組報告」がなされた。伊那市では、高校生との意見交換会の開催。これにより高校生による請願の提出、街路灯の増設につなげた事例が発表された。四日市市では、高校、大学に出向きワイワイGIKAIを開催している状況の説明があり今後は、各種業界団体など制限を設けず幅広い対象との交流を目指すことが報告されました。山鹿市からは、なりたい職業ランキングベスト10入りを目指して小学校に出向き出前授業を行っている報告があった。議員と子どもがふれあうことも非常に重要であることが感じられた。

2日間を通して感じたことは、幅広い年齢層から意見を聞いたりふれあうことにより議会、議員を身近に感じてもらい良い意見があればそれを実現していくことが大切であると感じた。議会だよりの子ども版もちょっぴり興味を惹かれました。

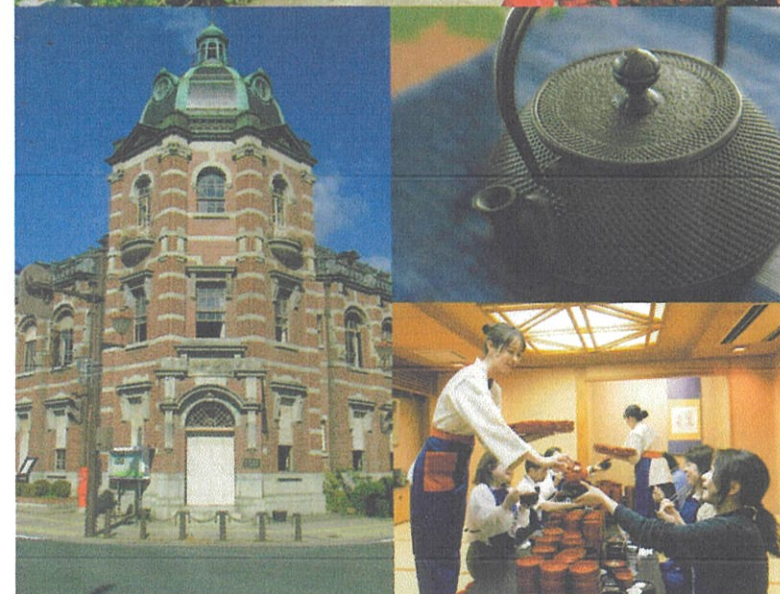
第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



「大会テーマ
主権者教育の新たな展開」

大会テーマ



令和6年

10月9日[水] ▶ 10日[木]

、一サイクラシックホール岩手
(岩手県民会館)



■主催：全国市議会議長会

■後援：総務省

■協賛：全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター

■実施：第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会



報 告 書

令和6年10月15日

真庭市議会議長 小田康文 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 西田文子



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会→要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和6年10月9日（午前・午後）1時00分 至 令和6年10月10日（午前・午後）11時30分
2 場 所	岩手県盛岡市内丸13-1 トーサイクラシックホール岩手
3 用 件	第19回全国市議会議長会研修フォーラムin盛岡 基調講演 菅 義偉 第99代内閣総理大臣 パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」 課題討議「主権者教育の取組報告」
4 概 要	基調講演は、事情で菅義偉第99代総理のビデオメッセージとなった。地方財政への取組としてふるさと納税制度を始めたこと、安倍政権からのインバウンドを推し進めて来たことで、地方の価値を上げ地域を前に進めて来たと話された。 パネルディスカッションでは、コーディネーターを静岡大学人文社会科学部法学科教授の井柳美紀氏が務められ、パネリストは土山教授、越智氏、渡辺氏

報告書（継紙）



遠藤盛岡市議会議長の4名。土山教授は議会に主権者教育はできるのか。議会は教育はやらない方が良いという切出しで始まった。主権者教育を題材にしているのに、いきなりきつい事を言われると思った。話を聞くと確かに議員が、子どもたちや、地域の方々に教育をするのは違うと思った。主権者教育ではなく何かいい言葉があればいいのだが。越智氏は総務省主権者教育アドバイザーで、若者の政治への意識について、どう捉えているのかを調査。若者は家族と政治の話をすることが無く、政治に関心がある若者は約56%、自分が政治を変えられない、だから選挙に行かない、でも社会の役には立ちたいと思っている。学生生活でも生徒会のなり手不足がある。内申点を良くして進学のために生徒会に入る生徒はいる。私も議員になると決めてから、政治の話を家族とするようになったが、自分の一票が政治を変えるとはあまり思っていなかった。読売新聞社の渡辺氏は自分が投票して世の中が誤った方向に行ったら困っている若者に、自分の未来をどうしたいか、それと同じ政策を訴えている政治家に投票すれば住みやすくなる。議員は街に出て住民の声を聞こう。高齢者にも主権者教育は必要。政権は変えられる。失敗したら変えればいい。なるほど、選挙権をまだ持っていない人ばかりではなく、有権者にも自分の未来を担う政治を勉強してもらうことは大切なことだと思う。遠藤盛岡議長は、市議会の高校生との取組を報告された。真庭市では高校生議会は行っていないが議会を経験することは、人生の内ではほとんどない事なので、大人になって、議会は何をやっているところなのかわからないという言葉は出てこないと思う。

2日目の課題討議では、高梁市で県の議員研修の講師で来られた河村准教授がコーディネーターを務められ、伊那市前議長白鳥氏、四日市市83代議長諸岡氏、山鹿市議長服部氏が事例報告をされた。河村氏が主権者教育は制度の理解が中心で正解を教えようとするが、いろんな正解がある。学生時代に主権者教育を経験すると、地元に残っている子は投票率が高い。声を上げたことが、例えば、達成感や愛着が生まれる。声を上げることに挑戦するか、地元で叶わなければ、国会に出ていくかだ。白鳥氏の報告では、意見交換会で生徒の方から政策を提案されたり、請願を出されたり、活動をしていることで意識や関心

が高まっていると感じた。諸岡氏の報告では、ワイ！ワイ！G I K A Iで思いついた企画はやってみる、失敗したらやめる、という大人で、議員の堅い頭をぶち割ったような取組に誰でも意見が出せる場を作れているなと思った。服部氏の報告では、小学校へ出向いているのは面白いと思った。絵本を使ったり、議員が順番で授業をおこない、子どもたちは家に帰っておうちの人に聞いた話をすると思う。

地域の人に真庭市のことに興味を持ってもらうことが、一緒に未来を作っていくことになるので、それが議員の大切な仕事だと思った。



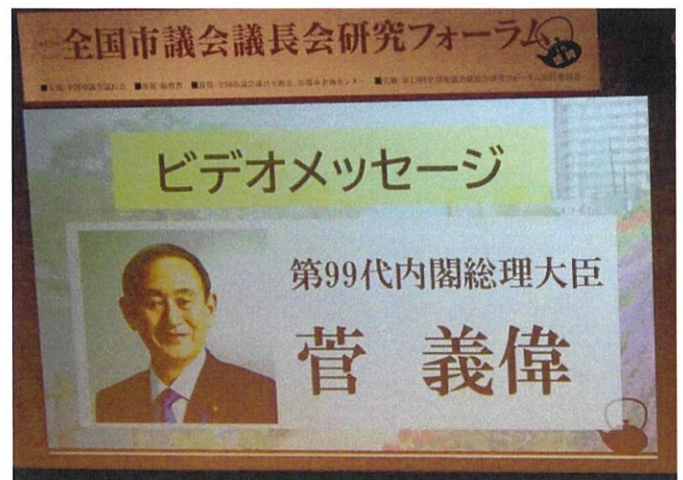
第19回全国市議会議長会研究フォーラム入口



開演前 盛岡さんさ踊り



フォーラムステージ画面



基調講演 予定変更 菅元総理のメッセージ



1日目 パネルディスカッション



2日目 課題討議



◀ 次回開催市 札幌市議会